

e-AI業務サポートシステム AIBizS



オープンAIがデータから価値を生み出し、
業務課題を可視化、未来を予測します。

例えば、顧客アンケートや売上データを分析し、ターゲティングや予測を支援、経営指標を分析し、課題と対策を提案します。

運転資金の課題分析	普通預金	受取手形	売掛金	短期貸付金	有価証券	短期貸付金	支払手形	買掛金	短期借入金	未払消費税	未払利息	未払法人税等	預り金
2021/12/31	2506300	1896200	12568920	1000000	3000000	658930	0	12562000	5000000	1262000	26800	256000	150000
2022/12/31	2648654	2187200	20868920	1000000	3000000	868200	0	22586000	5000000	2662000	34100	532000	150000
2023/12/31	2347802	1896430	23668167	1000000	3000000	542980	0	23483500	5000000	2465100	28321	236000	150000

ExcelデータをAIBizS
にアップロード

分析対象データ
読み込み



MySQLサーバーなどの
あるデータと連携

メニュー一覧 > おもてなし力アップシステム

データ分析履歴

現在の注文履歴には、2025年1月1日から202...

注文履歴のデータによれば、売上額が一番多...

...

取得したデータによると、以下の商品の利益率が...

提供されたデータからは、2024年1月1日から20...

一番売れている商品は「生ビール アサヒスーパード...

「ゆ玉 10個入」の販売件数は、データ内に該当...

つるやの売上と数量が多いベスト10の商品を調...

以下は、売上高が多い商品ベスト10およびその...

データを解析した結果、最も売り上げが多い担...

対象テーブル *

2022年には運転資金が不足していましたが、2023年に改善しています。しかし、2021年と比較すると、依然として低い水準です。

2. 主な要因

• 売掛金の増加
→ 2021年：12,568,920円 → 2022年：20,868,920円 → 2023年：23,668,167円
→ 売掛金が大幅に増加しており、資金回収の遅れが運転資金の圧迫要因となっている可能性があります。

• 買掛金の増加
→ 2021年：12,562,000円 → 2022年：22,586,000円 → 2023年：23,483,500円
→ 買掛金も増加しており、取引先への支払い負担が大きくなっています。

• 未払消費税の増加
→ 2021年：1,262,000円 → 2022年：2,662,000円 → 2023年：2,465,100円
→ 税負担が増加し、キャッシュフローに影響を与えています。

3. 改善のポイント

• 売掛金の回収を早める対策（回収条件の見直し・支払いサイトの短縮化）

• 仕入れや支払い条件の最適化（買掛金の支払いサイクルの見直し）

• 未払消費税の管理強化（適切なキャッシュフロー管理）

全体的に、2022年の運転資金不足が2023年に改善されているものの、売掛金増加による資金繰りリスクが高まっています。引き続きキャッシュフロー管理を強化し、売掛金の回収スピードを向上させることが重要です。

注文日
2025/2/15 - 2025/2/15

注文担当者
等しい

商品名
等しい

販売単価
等しい

データ分析を行うための質問を入力してください。

0/2000

AIBizSの多目的情報分析システム 例

■特徴

- ・最新データを即時解析、ビジネス判断をリアルタイム分析ができます。
- ・売上・顧客行動・経営課題を直感的に表示のデータの可視化ができます。
- ・専門知識がなくても、低コストでAIを活用し、業務効率化や売上向上を実現できます。

■主な機能

- ・AI分析のためのインターネット接続のデータベース登録設定
- ・MySQLサーバー等へのアクセス情報設定
- ・AI分析必要なテーブルのデータ項目や抽出条件の設定
- ・業務データなどをオープンAIで分析し、課題を可視化
例：顧客の購買パターンやトレンド分析、自動レポート生成
- ・AIの分析結果を画面表示及びExcel形式でダウンロードが可能